



平成 26 年 9 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 ビットアイル
(コード番号 3811・東証 1 部)
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 寺田 航平
問合せ先責任者 経営企画本部長 和田 倫幸
電 話 番 号 03-5782-8723

中期経営計画策定に関するお知らせ

記

当社グループは平成25年9月10日に発表をいたしました中期3ヵ年計画(平成26年7月期から平成28年7月期)を見直すとともに、新たに平成29年7月期を加えた中期3ヶ年計画(平成27年7月期から平成29年7月期)を策定しましたのでお知らせいたします。

1. 概要

首都圏におけるデータセンターの需給環境は、2012年から2013年を頂点にデータセンターの開設が続き、悪化してまいりました。当社におきましてもこの影響を受け、足元の状況は依然として厳しい状況が続いております。

しかし、一時的な需給の変動要因があるものの、データセンター市場は、経営資源の集中やコスト削減を実現させることを目的としたITアウトソーシングニーズ、通信技術の進歩、デバイスの進化・多様化、クラウドコンピューティングへの対応等のデータセンターのニーズ等により今後とも拡大が見込まれており、需給の悪化からデータセンターの新設が遅れていることに加え、建設費の高騰等の影響により、需給環境は改善すると想定しております。

また、国内の景況感の改善と相まって、システムエンジニアの派遣や、システム開発等のIT関連の投資意欲は高まってくるものと思われまます。

一方、大量の電力を必要とするデータセンターにとって、近年の電力単価高騰は、コスト負担を強いられております。しかし、当社グループは政府が推進する再生可能エネルギー施設の普及策や電力システム改革等をビジネスチャンスと捉え、積極的に再生可能エネルギー発電施設の開発を行い、安価な電力供給体制を構築するとともに、他社に対しての当該施設の販売をも積極的に展開してまいります。

上記の環境をもとに、当社は以下の施策を実施いたします。

- i. 競争力の高い第5データセンターの開設・販売により、新たな顧客層を開拓
- ii. クラウド事業者との協業により、顧客にとって最適なITインフラ環境の提案をするとともに、取引社数の獲得を推進
- iii. 営業人員の拡充をはじめとした販売体制の強化
- iv. グループ各社の事業育成と拡大を引き続き行うとともに、収益貢献を推進
- v. 積極的なメガソーラー施設の開発・販売
- vi. 保有メガソーラー施設を拡大し、安価な電力供給体制の構築

以上を踏まえ、当社グループは全社一丸となって、今まで以上に高い付加価値を提供できる総合ITアウトソーシング企業へ成長していきたいと考えております。

2. 計数計画（単位：百万円）

	平成26年 7月期(実績)	平成27年 7月期(計画)	平成28年 7月期(計画)	平成29年 7月期(計画)
売上高	17,601	23,700	26,000	29,000
営業利益	2,705	2,600	3,200	4,500
経常利益	2,431	2,350	2,900	4,200

参考：その他の経営指標（単位：百万円、ラック、%）

	平成26年 7月期(実績)	平成27年 7月期(計画)	平成28年 7月期(計画)	平成29年 7月期(計画)
稼働ラック数	4,282	4,552	4,992	5,442
設置可能ラック数	6,073	7,513	7,513	7,513
稼働率	71%	61%	66%	72%

以上

（当資料取り扱い上のご注意）

本リリース記載の将来の業績見通しに関する事項、特にご参考の箇所については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後様々な要因によって記載されている内容と異なる場合があります。